

トラストガーデン宝塚通信

2017年
春号



ご入居者インタビュー

村田 徒一 様

トラストガーデン宝塚との出会いは奥様を亡くされてから。

いは4年前、奥様を亡くされてから1年後のことでした。実は、奥

様と二人元気で暮らしていたころから、子供がいないのでホームへの入居は検討していたそうですが。そんなある日、奥様が倒れて突然、介護が必要になったとのことです。奥様は愛着のある自宅での暮らしを望まれたので、自宅をリフォームし介護生活がスタート。

しかし、自分で驚くほどに体力が低下、庭の手入れもできなくなり、これでは周りの人に迷惑をかけてしまうので、愛着のある家を離れる決心をしました。今思えば、引越しには体力も気力もいるのでもう少し早く決めておけばと後悔していますよ」と苦笑いされました。

将来のことを考えて、愛着のある家を離れる決断。

「今思えば、苦労したこと太多かつたけど妻の望みを叶えてあげて良かったと思っています。

当時、一度は部屋も決めて手続きを進めたのですが、その頃はまだ元気だったし、ご近所との付き合いもある。何より妻と同じ場所で最期を迎えるよ

うと決めて自宅での暮らしを続けることになりました。

静かで落ち着いた快適な暮らし。

「引越し前から自宅や家財の売却のお手伝いをしてくださり、職員には感謝しております。集団生活は初めてで戸惑いも多いですが、入居者の方とも適度な距離を置いてお付き合いさせていただいております。静かに落ち着いた暮らししが、私の希望ですから、それを叶えていただきたいです。自宅から愛着のある大きなソファは持ってきたかったので、部屋を特別にリフォームしてもらい、広いリビングを作つてもらいました。ここで座つていると妻との思い出がよみがえってきました」と嬉しそうにお話いただきました。

快適にお過ごしいただけるよう、ご入居様の希望に合わせたリフォームに対応します。

居室リフォーム一例



壁クロス、間取り、
キッチンなど
自分らしく
コーディネート